

## 「青少年インターネット利用環境の現状（３点）」に関する参考資料

資料１（２頁）「第４次青少年インターネット環境整備基本計画（案）の主なポイント」関連

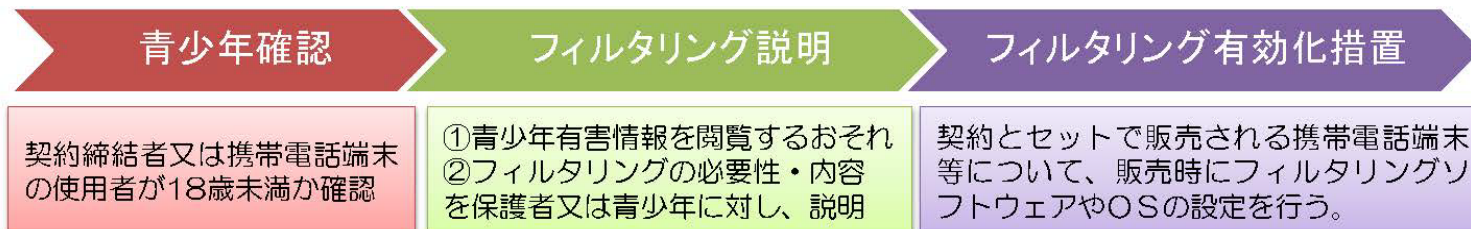
# 現状1 スマートフォンやアプリ・公衆無線LAN環境の普及等に対応した法改正

## 青少年インターネット環境整備法改正法の概要

スマートフォンやアプリ・公衆無線LAN経由のインターネット接続が普及し、フィルタリング利用率が低迷。こうした状況に対応するため、フィルタリングの利用の促進を図るための法改正を行う。

### 1. 携帯電話インターネット接続役務提供事業者(携帯ISP)と契約代理店

新規の携帯電話回線契約時及び機種変更・名義変更を伴う携帯電話回線契約の変更・更新時に、下記を義務付け



※ フィルタリング義務の対象機器を携帯電話端末だけでなく携帯電話回線を利用してインターネットを閲覧できる機器に拡大

### 2. 携帯電話端末・PHS製造事業者

フィルタリングソフトウェアのプリインストール等  
フィルタリング容易化措置を義務付け

### 3. OS開発事業者

フィルタリング有効化措置・フィルタリング容易化措置  
を円滑に行えるようOSを開発する努力義務

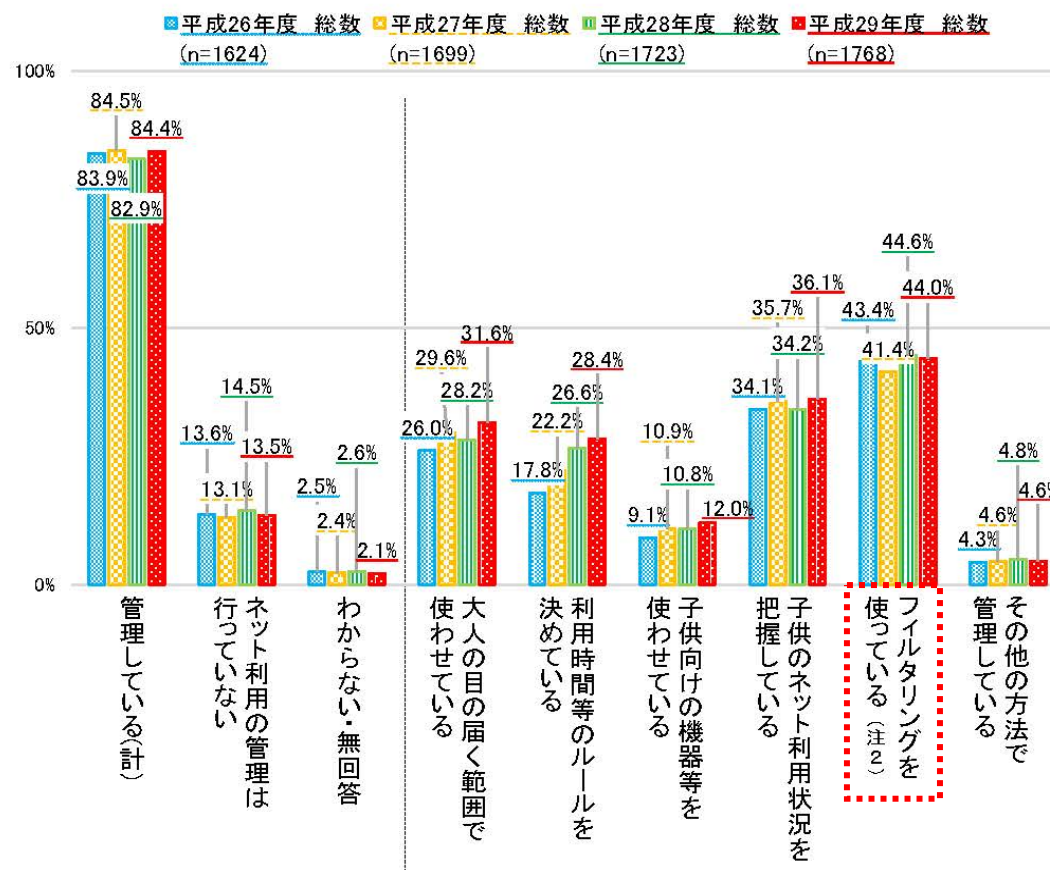
☆施行期日：平成30年2月1日

## 【参考】フィルタリングの利用状況

青少年がスマートフォンを利用する保護者のうち、「フィルタリングを使っている」と回答した保護者の割合は 44.0%

（平成 29 年度 青少年のインターネット利用環境実態調査結果（概要）（平成 30 年 3 月 30 日内閣府発表）より抜粋）

### スマートフォンにおける保護者の取組の経年比較（平成26年度～平成29年度）



（注1）青少年が「スマートフォン」を利用してインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

（注2）平成28年度・平成29年度は、質問文に続くフィルタリングに係る説明資料の内容に変更を加え、また、選択肢「機器に備わっている利用制限・閲覧制限機能等を使っている」を削ったため、「フィルタリングを使っている」の回答については、平成26年度・平成27年度の調査結果と直接比較できない。

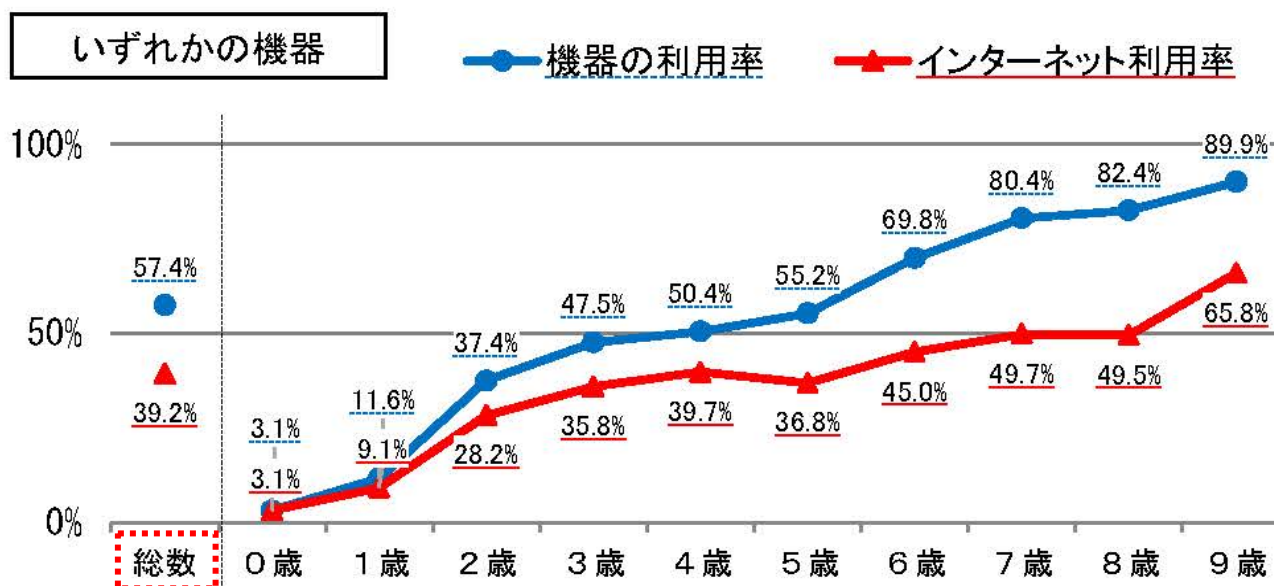
## 現状2 インターネット利用者の低年齢化

### 子供（0歳～9歳）のインターネットの利用状況

子供の39.2%が、いずれかの機器でインターネットを利用。年齢が上がるとともに多くなっている。

（低年齢層の子供のインターネット利用環境実態調査（概要）（平成29年5月19日内閣府発表）より抜粋）

#### 機器・インターネット利用率（子供の年齢別）



（注1）回答した保護者全員をベースに集計。回答数は以下のとおり。

総数（n=1,550）0歳（n=97）1歳（n=121）2歳（n=163）3歳（n=162）4歳（n=131）5歳（n=163）6歳（n=169）7歳（n=163）8歳（n=182）9歳（n=199）

（注2）「いずれかの機器」は、調査対象の15機器のいずれかを子供が利用していると回答した保護者。

## 【参考】青少年のインターネット利用率（0歳～17歳）

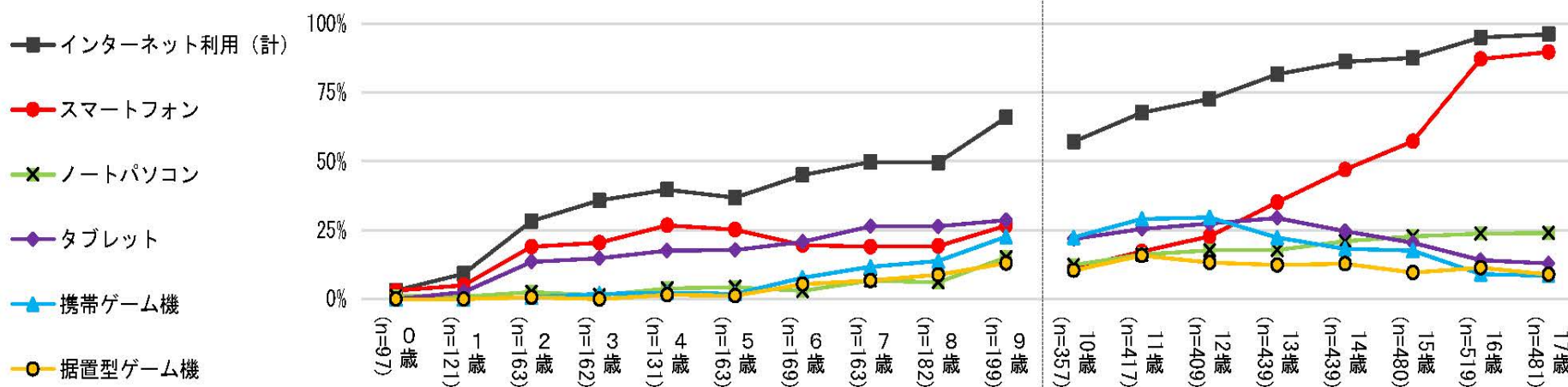
インターネット利用率は年齢があがるとともに増加。低年齢期からのインターネットリテラシーの向上の必要性。

（低年齢層の子供のインターネット利用環境実態調査結果（概要）（平成30年5月19日内閣府発表）より抜粋）

### 青少年の各機器によるインターネット利用率

低年齢層の子供のインターネット利用環境実態調査  
（調査期間：平成29年1月12日～30日）

平成28年度青少年のインターネット利用環境実態調査  
（調査期間：平成28年11月5日～12月11日、公表：平成29年3月30日）



（注1）0歳～9歳のインターネット利用率は、「低年齢層の子供のインターネット利用環境実態調査」のQ3の調査結果。保護者に対して、子供が利用しているインターネット接続機器（15機器）について、子供がその機器でインターネットを利用しているか聞いたもの。回答した保護者全員（n=1550）をベースに集計。

（注2）10歳～17歳のインターネット利用率は、「平成28年度青少年のインターネット利用環境実態調査」の保護者調査票Q7の調査結果。保護者に対して、子供が利用しているインターネット接続機器（15機器）について、子供がその機器でインターネットを利用しているか聞いたもの。回答した保護者全員（n=3541）をベースに集計。

（注3）「インターネット利用（計）」は、いずれかの機器（15機器）でインターネットを利用する割合。

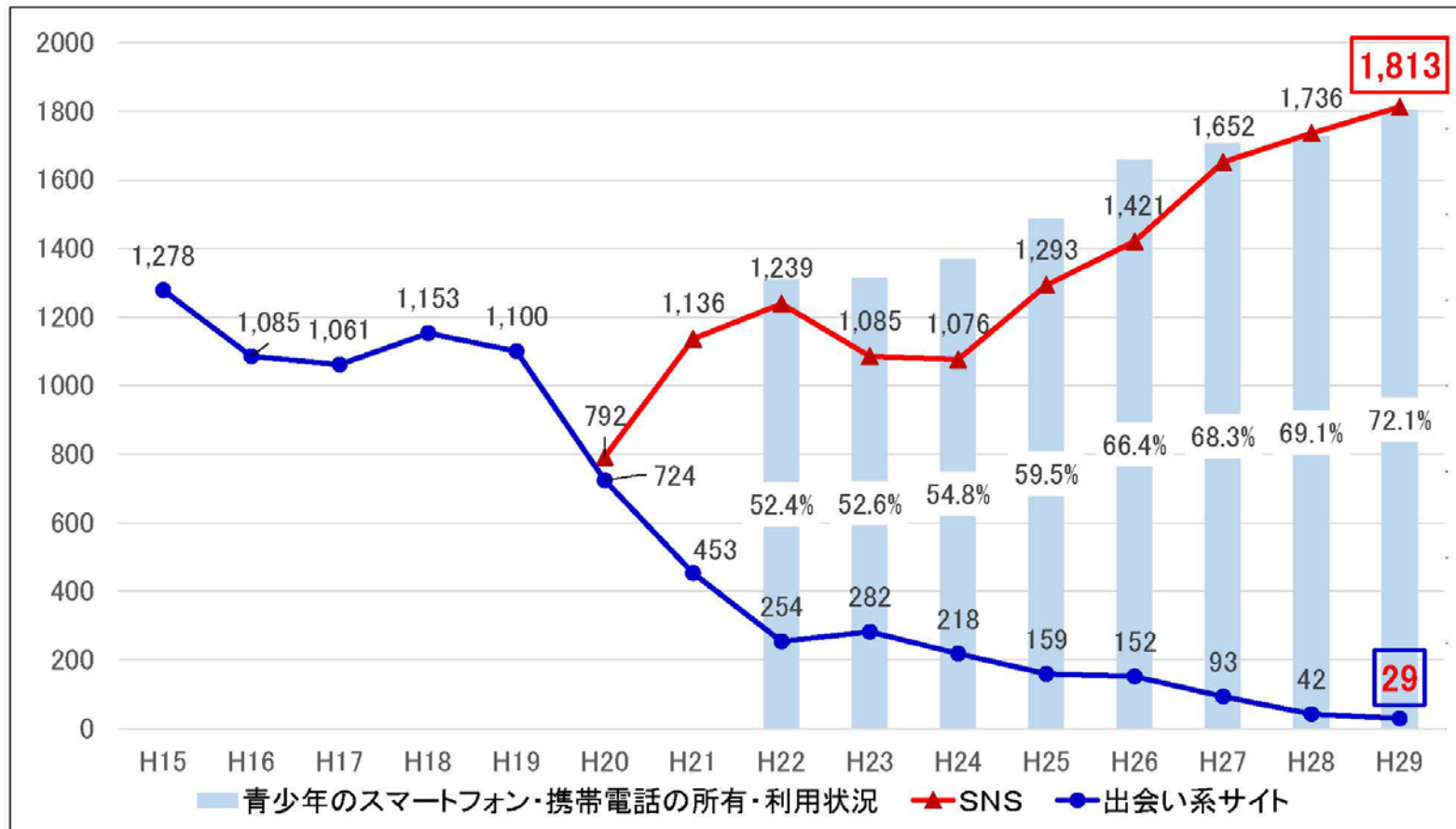


## 現状3 SNS等に起因する青少年の犯罪被害等の増加

### SNS等に起因する事犯の被害児童数の推移

SNSに起因する事犯の被害児童数は、青少年のスマートフォン等の所有・利用状況の増加に伴い増加傾向にあり、過去最多。  
 （平成29年におけるSNS等に起因する被害児童の現状と対策について（平成30年4月26日警察庁発表）より抜粋）

- ・ SNSに起因する事犯の被害児童数は、青少年のスマートフォン等の所有・利用状況の増加に伴い増加傾向
- ・ 一方、出会い系サイトに起因する事犯の被害児童数は、平成20年の法改正以降減少傾向



※ 青少年のスマートフォン・携帯電話の所有・利用状況（統計数値）については、内閣府ホームページから引用